

Mémoires 2019

ホープフルステークス

第36回ホープフルステークス「GI」優勝馬「コントレイル」



春への視界に曇りなし



▶父アイブインパクトと同じく、無敗でクラシック戦線へ向かふコントレイル。



リスグラシューが圧勝で自ら引退の花道を飾った有馬記念の翌週。2019年の中央競馬、そのファイナルとなるホープフルステークスで、リスグラシューを育てた矢作芳人厩舎がまたも大物感たっぷりのニュースターを送り出した。

そのコントレイルは、デビュー2戦目の東京スポーツ杯2歳ステークスをJRA2歳記録で制しており、単勝オッズ2.0倍の1番人気に支持された。そして、アイビスステークスを圧勝したワーケア、萩ステークスを先行・抜け出しで勝ったヴェルトライゼンデ、芙蓉ステークスを楽勝したオーソリティの負けなしの3頭がオッズ一桁台で続いてレースを迎える。

好スタートから飛び出したパンサラッサが先頭に立ち、1番人気のコントレイルは少し離れた4番手の好位置をキープ。ヴェルトライゼンデとオーソリティがそれをマークするように中団を進んで、スタートで他馬と接触のあったワーケアは後方待機の策をとった。平均的なペースで進んだレースが動いたのは3コーナー付近だった。抑えきれない手応えで、馬群の外を通過してコントレイルがスッと位置を押し上げると、後続もそれに合わせて追撃の態勢に入る。

直線に入り坂下で軽くゴーサインを出されたコントレイルは、単騎で逃げるパンサラッサをあっさり捉えて先頭に躍り出る。そして、あっという間に後続を置き去りにすると、追ってきたヴェルトライゼンデをまったく寄せ付けず、手綱を抑えたまま1馬身半の差を付けてゴールへと飛び込んだ。ワーケアは外から脚を伸ばしたものの3着に終わった。

「育成の時期に半年も休んでいたことを考えると、こんな勝ち方ができるのは、凄いポテンシャルを秘めている証拠です」。矢作調教師は、2歳馬とは思えない完璧なレース内容に感嘆した。騎乗した福永祐一騎手は、「レースセンスはいいし、素晴らしい瞬発力も持っています。いまは言うこと（注文を付けること）がありません」と相棒を絶賛し、「いずれは日本を代表する馬になってほしい」と期待を込めた。無敗三冠馬の物語は、まだ始まったばかりだった。



▲勝負所で徐々に進出したコントレイル（帽色・黒）は、2番手で直線へ。

第36回ホープフルステークス「GI」

12/28 中山競馬場 2000m(芝・右) 晴・良 13頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	コントレイル	牡	2	55	福永 祐一	矢作 芳人	2:01.4	①	④④③②
2	ヴェルトライゼンデ	牡	2	55	O.マーフィー	池江 泰寿	1 1/2	③	⑥⑥⑤④
3	ワーケア	牡	2	55	C.ルメール	手塚 貴久	2	②	⑩⑩⑨⑦
4	ラインベック	牡	2	55	岩田 康誠	友道 康夫	1 3/4	⑥	②②②②
5	オーソリティ	牡	2	55	池添 謙一	木村 哲也	クビ	④	⑧⑧⑧④
6	パンサラッサ	牡	2	55	坂井 瑠星	矢作 芳人	3	⑫	①①①①
7	ブルーミングスカイ	牡	2	55	田辺 裕信	角居 勝彦	1/2	⑦	②②③④
8	ディアセオリ	牡	2	55	三浦 皇成	高木 登	クビ	⑪	⑩⑧⑨⑨
9	ブラックホール	牡	2	55	石川裕紀人	相沢 郁	2 1/2	⑤	⑤⑤⑤⑦
10	ラグビーボーイ	牡	2	55	北村 宏司	勢司 和浩	2 1/2	⑩	⑫⑫⑪⑪
11	ガロアクリーク	牡	2	55	丸山 元気	上原 博之	1 3/4	④	⑥⑥⑤⑨
12	ナリノモンターニュ	牡	2	55	M.デムーロ	上原 博之	5	⑧	⑧⑪⑪⑫
13	クリノブレーヴ	牡	2	55	斎藤 新	長谷川浩大	5	⑬	⑫⑫⑬⑬

単勝 ②200円 複勝 ②110円 ③140円 ④110円 枠連(2-4) 770円
馬連 ②-⑤810円 馬単 ②-⑤1,170円 ワイド ②-⑤300円 ②-⑦170円 ⑤-⑦270円
3連複 ②-⑤-⑦580円 3連単 ②-⑤-⑦2,760円

ハロンタイム 12.6-11.5-12.4-12.2-12.2-12.1-12.0-12.0-11.9-12.5
通過タイム 600m ③36.5-800m ④48.7-1000m ⑤1:00.9-1200m ⑥1:13.0-1400m ⑦1:25.0-1600m ⑧1:37.0-1800m ⑨1:48.9

優勝馬 **コントレイル**
2017.4.1生 父アイブインパクト 母ロードクロサイト 母の父Unbridled's Song
新冠・株式会社 ノースヒルズ生産 馬主・前田晋二氏